

## 日本での交換留学

国立台北芸術大学  
チョウ シン ヨウ  
学籍番号 k2590011

日本での留学生活、この半年間はあっという間に過ぎました。最初の頃は、楽しみと不安な気持ちを抱えて日本に来ましたが、今では離れがたいと思います。

桜が咲く四月、お茶の水女子大学の新学期が始まりました。心の中で憧れていた景色が、ついに現実となった瞬間でした。在留期間の手続きや学校ツアーなどは、国際課の先生や先輩方が丁寧にサポートしてくださり、順調に進みました。そのおかげで、だんだんと気持ちも落ち着き、日本での生活にも慣れていきました。

留学生として、最も大切な重心は授業を受けることです。元々自分の日本語能力に自信がなく、みんなのペースについていけるか不安でした。しかし、自分に合った授業を選び、結果的にはとても充実した学びができました。特に加藤先生の「上級漢字」と「日本事情演習IIA」では、たくさん発表の機会がありました。最初はクラスメイトの前で日本語を話すのが緊張しましたが、毎回練習を重ねることで少しずつ慣れました。そして、先生はいつも優しくフィードバックをしてくださり、本当にありがとうございました。

課外活動では、毎月開催される「日本文化教室」が一番好きなイベントでした。きもの・生け花・茶道・食文化教室に参加し、日本の文化や歴史を学びながら、実際に体験することができました。それは何よりも日本に深く触れる貴重な学びの機会でした。また、ずっと興味のあった写真部にも参加しました。撮影が好きな人達と出会えたことがとても嬉しかったです。留学期間中には、友達と一緒に東京の展覧会や神社を巡ったり、他の地域にも旅行に行ったりしました。

最後に、いつも支えてくださったすべての方々に心から感謝申し上げます。指導教員の宮下先生、国際課、国際教育センターAAの皆様、音羽館の管理人さん、本当にお世話になりました。そして、友達のみなさん、本当に優しく温かい人たちばかりでした。嬉しいときも、悲しいときも、いつもそばにいてくれてありがとうございます。

ここで過ごした日々は、素敵な思い出をできて、これからもずっと心の中に残り続けると思います。

